



ワイオタブ (聖なる水) 熱泉湧き出る不思議の国

ワイオタブ地熱地帯の情報

この地熱地帯のうちの一部、約18平方キロメートルのエリアが、一般の旅行者に開放されています。景観保護区に指定されており、タウボ火山帯の熱水循環系においては、最大規模の地表地熱活動エリアです。このエリアにはクレーターが多数存在しており、泥、水、蒸気を伴った熱泉や冷泉があります。こういった特徴は、15万年前にはじまった火山活動や、1万5千年前にはじまった熱水活動に関係しています。このエリアで沸き上がった水はワイオタブ川を経て、ワイカト川へと流れ込みます。多数の熱泉から化学物質が流れ出ているため、ワイオタブ川には魚がいません。

観光エリアに関する情報

このパンフレットでは、観光エリアについて説明します。観光をされる方は御自身で安全を確認してください。標識には常に従い、整備したトラックを歩行してください。このエリアは景観保護区のため、あらゆる動植物相、地形は手厚く保護されています。また周辺のマヌカ密生地帯は、含有されるミネラルの関係上火気に対して非常に敏感ですので、このエリアでの喫煙は絶対にご遠慮ください。

ご覧いただける色は全て天然のもので、その色は化学物質によって変わってきます。主な色に関する物質は以下の通りです。

黄色/淡黄色	硫黄	オレンジ	アンチモン
白	二酸化ケイ素	緑	ヒ素
赤銅色	酸化鉄	黒	硫黄および炭素
紫	マンガン		

ワイオタブ川を渡り、最初に現れる地熱地帯はこのように呼ばれます。

クレーター

直径が最高20メートル、深さが12メートルにもなります。熱泉を伴ったものもあり、そのほとんどには噴出する蒸気に含まれる硫黄が大量に堆積しています。大部分のクレーターは、900年前頃に発生した地下水源の酸性化の結果、その表面が陥没して現れました。

- ① **デビルズホーム (悪魔の家)**
最初に現れるクレーターで、地下の酸化活動の結果現れたものです。黄色の硫黄水晶は、硫黄ガスが冷却したため現れました。
- ② **レインボークレーター**
硫黄水晶と、クレーターの壁面に見られる軽石中の色のついた鉱脈の模様からこの名前がつけられました。熱水の表面には油膜が見られます。
- ③ **サンダークレーター**
このクレーターは1968年に出現しました。底で湧き起こる熱水が侵食作用を進めており、いかにこの地が変化しやすいかがはっきりとわかりいただけます。
- ④ **デビルズインクボット (悪魔のインク壺)**
泥池が集まっており、降水量によって水位が変化します。黒鉛と原油を水が押し上げているために色がついています。
- ⑤ **アーティストパレット (画家のパレット)**
このパレットはシャンパン池に隣接しており、あらゆる色が熱水/冷水池や蒸気が吹き出す噴気孔で見られます。この色は、水位や風の向き、シャンパン池から流入する水によって変化します。
- ⑥ **オパール池**
温泉華台地の端に位置する硫黄泉です。この場所から両脇にすばらしい景色が広がり、谷を下ってオハキ地熱発電所に進みます。
- ⑦ **ボードウォークを通して台地を進む**
ワイオタブならではの体験をお楽しみください。
- ⑧ **プリムローズ台地**
ニュージーランド最大の温泉華台地で、1886年に発生したタラウエラ山の噴火で、ピンクアンドホワイト台地が崩壊してできました。シャンパン池から流れ出る水には、気化したあと沈殿した石灰中のケイ酸塩が含まれています。そして温泉華はゆっくりと台地を形成していきます。(現在のものは900年を経ています。)
- ⑨ **ジーンバッテン間欠泉**
ロトルア生まれの有名な飛行家で、1931年にワイオタブを訪れたことを記念して名づけられました。強い南風のときにのみ3メートルほど吹き上げます。

- ⑩ **聖なる小道**
このブッシュトラックはボードウォークにつながっており、パノラミックな景色をお楽しみいただけます。このトラックは、先住民の墓地の近くを通っているため、ツツジの咲くトラックで隔てられています。
- ⑪ **パノラミックな景色**
ここではワイオタブ渓谷の谷底の景色を楽しむことができます。遥か彼方には、南半球最大を誇る広大な人工林がカインガロア平野を覆っています。手前にはフライバン平原が広がり、その向こうにはグランドファーザーと呼ばれるナコロ湖の緑色に映る水面が広がります。左側には、エコー湖の青い湖面と、空色とも言えるワンギオテランギ湖を望むことができます。
- ⑫ **ブライダルベール滝**
この滝で温泉華台地は終わりとなります。オパール池から流れ込む水の影響で、滝の水が部分的に色づいています。この滝から浅い川へと水が流れ込み、その川は南へと方向を変えます。
- ⑬ **ワイオタブ間欠泉**
水面の高さが最高で3メートルの高さにまで下がったときにのみ、2時間から8時間おきに吹き出します。
- ⑭ **アルミ絶壁**
このトラックでは、太古の水路と900年程前に陥落してできたクレーターによって形作られたアルミ絶壁を通った風が吹きます。
- ⑮ **フライバン平原**
同じく太古に陥落してできたクレーターと考えられており、現在のこの場所は沈殿物が堆積してできています。
- ⑯ **オイスター池**
ボードウォークから望め、地形が変化しやすいエリアにありますが、この天然の硫黄池は、その特徴的な形から名づけられました。
- ⑰ **硫黄鍾乳洞**
トラックから見るができます。絶壁にある突起部分の下側で高温の硫黄ガスが冷却され、結晶化してできあがった壮大な地形です。
- ⑱ **ナコロ湖滝**
平原でブッシュウォークを楽しんでいると、やがて水が岩に当たり、緑色をしたナコロ湖に流れ込んでいるところに差し掛かります。滝の上から眺めると、970年前の噴火の後にできたこの湖のほぼ全体を見渡すことができます。湖の東岸には蒸気が立ち上っており、まだ地熱活動が盛んなことをうかがわせます。
- ⑲ **ネイティブブッシュウォーク**
ネイティブブッシュを進んでいくと巨大なカヌカ（ニュージーランド産の低木）も目に入ります。高い枝葉と天然の水路に恵まれているため、この辺りはミツスイとテウイの絶好の生息地となっています。
- ⑳ **硫黄塚**
ブッシュトラックを更に進むと、アリ塚のようなところに差し掛かりますが、実はこれは硫黄塚です。元々、水の中で形成されたものですが、1950年代に東側に向けて道路整備を行った際に、排水をしたため現れたものです。
- ㉑ **シャンパン池**
この区域では最大の温泉で、直径、深さともに60メートルです。水温は74度で、炭酸ガスを含んだ泡が出ています。900年前の熱水爆発によって現れました。水に含まれるミネラルには、金、銀、水銀、硫黄、ヒ素、タリウム、アンチモンなどがあり、周辺の温泉華棚に堆積しています。
- ㉒ **インフェルノクレーター**
このクレーターでは、底に噴出泥がご覧になれます。最近20メートルの高さまで噴き出したという記録があります。
- ㉓ **バーズネストクレーター（鳥の巣クレーター）**
ムクドリとカバイロハッカの巣が、クレーター壁面の穴にあります。クレーターの熱で卵が孵ります。
- ㉔ **硫黄鍾乳洞**
硫黄水晶が、火口上にある洞窟の壁に美しく現れています。この辺りにある塩素系池は、料理に利用されることがあります。
- ㉕ **デビルズバス（悪魔の浴槽）**
ブッシュに隣接したごつごつとしたクレーターで、不思議な色をした水が特徴です。緑色が濃くなればなるほど、ヒ素の含有割合が高くなります。